

多自然川づくり取り組み事例

タ イ ト ル : トコトコダンダン～DESIGNで人・まち・水辺をつなぐ～ 木津川遊歩空間整備事業		
水系／河川名 : 淀川水系 木津川		河 川 分 類 : 都市河川
河川の流域面積 : 288km ²		整備計画流量 : 410m ³ /s(W=1/100) セグメント : 3
事 業 : 環境整備		事業開始年度 平成22年度
目 標 設 定 : 定性的		段 階 : D(実施・施工時)
課題・目的(主な): 水際域の保全・再生・創出、水辺へのアクセス改善		
工 法 (主 な) : 築堤、護岸整備、移植、植樹、階段工の整備、管理ルールの設定、その他		
配慮事項(主な): 河川景観への配慮、歴史・文化への配慮、その他		

背景・課題、目標設定

〈背景・課題〉

古来より水の都として栄えた大阪。水辺は長らく人材・物資・文化などの交流拠点として賑わっていたが、近代以降、陸路整備や高潮対策事業の推進に伴い、水辺は日常生活から疎遠になり、かつての良好な景観や賑わいは徐々に失われた。

21世紀に入り、現代でも市内面積の10%を占める水辺の価値が再認識され、産官学NPOが水都大阪の再生に一体的に取り組み始める。その一環で市内中心部を河川が“ロ”の字で囲む地形を活かし、水の回廊を整備することでまちの魅力や賑わいの創出に資するのが遊歩道整備事業であり、木津川遊歩空間もその一端を担う。耐震補強のために埋立てた旧入掘りを広場として活用できるのも特徴。

〈課題〉

- ・高い壁となった防潮堤で、人・まち・水辺の関係性は希薄になり、都市環境の在り方に課題を抱える。
- ・行政単体で公共空間を整備しても、良好な景観を持続することが困難となることが多い。

〈目標〉

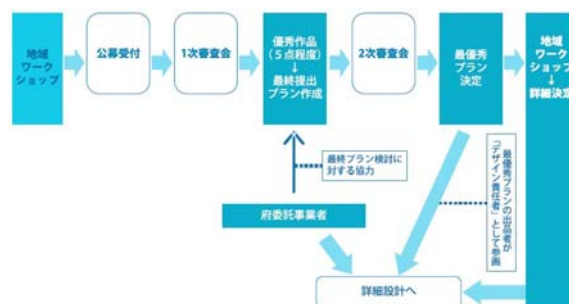
- ・周辺環境や地域性、歴史・文化を最大限に活かしながら人・まち・水辺をつなぐ、豊かな水辺環境を構築し、まちの魅力を向上する。
- ・地域住民が愛着を持って主体的に利活用することで賑わいを創出し、良好な景観を持続的なものにすること。

取り組み内容・対策例

1) プラットフォーム形成支援事業による

新たなデザインコンペスキームの構築(右図参照)

- ・計画から地域住民が参加するWSを開催し機運を醸成
- ・コンペには誰でも応募可能とし、魅力溢れる空間となるよう最大限の可能性を模索した。



2) 土木施設の設計・施工にかかるデザイン監修

- ・コンペ最優秀選定の設計者が設計から施工管理まで徹底して携わることでデザインの実現性を高める。

3) 地域による利活用や美化活動の促進

- ・NPOや地元町会との連携により美しい景観を維持する。
- ・地域の新たな交流拠点とする。

モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

1) 人・まち・水辺をゆるやかにつなぐ魅力溢れる空間を創出できた。

2) 地域の利活用や美化活動を実施

定期的な清掃・緑化活動やヨガイベントなどを実施し、新たな交流を生み出しながら良好な景観を維持している。

3) 新たなスキームが公共空間整備手法の先進事例となった。

土木学会の景観小委員会で上申予定のデザインコンペガイドにも掲載予定。

4) 土木施設の新たなスタンダードの提案

設計施工に際してパース、模型、製品開発、実証実験などスケッチ横断的にデザイン監修したことで空間の質を高めることが出来た。

5) 専門誌等へ掲載や、講演、見学会、賞エントリーを通じて広げ



備考

問い合わせ先	大阪府 ①西大阪治水事務所 水都再生課 または ②河川室 河川環境課
電話番号	①06-6541-7772 ②06-6943-6506

トコトコダンダン

～人・まち・水辺をデザインでつなぐ～
木津川遊歩空間整備事業

Keywords : デザインコンペ, 景観, 地域連携

● 航空写真



● 取組事例



地域アプト活動



親水護岸の水鳥

高潮対策のため築かれた防潮堤は、いつしか水の都、大阪の人々を水辺から遠ざけていた。水都再生事業の一環で整備することとなった木津川遊歩空間では、ハード・ソフトの面であらたな手法によりデザインを取り込むことで、人・まち・水辺をつなげ、水辺の景観・環境の保全や地域連携への活路を見出すことにチャレンジした。